

## 栃木県教育委員会定例会会議録

平成28年1月5日(火)、栃木県教育委員会定例会を栃木県庁南別館内教育委員室に招集した。

1 出席委員は次のとおりである。

1 番 (委員長)	岡	直 樹
2 番	吉 澤 慎	太 郎
3 番	伏 木 由	佳 子
4 番	工 藤	敬 子
5 番	陣 内	雄 次
6 番 (教育長)	古 澤	利 通

2 議事に参与した職員は次のとおりである。

教 育 次 長	金 田	繁 夫
教 育 次 長	金 井	正 誠
総合教育センター所長	長 野	金 市
総 務 課 長	石 崎	隆 治
施 設 課 長	江 連	幸 宏
教 職 員 課 長	軽 部	美 誠
学 校 教 育 課 長	宇 梶	清 隆
特 別 支 援 教 育 室 長	中 田	好 和
生 涯 学 習 課 長	猪 瀬	晃 満
ス ポ ー ツ 振 興 課 長	塩 澤	信 男
文 化 財 課 長	荷 見	祐 子
健 康 福 利 課 長	伊 藤	惠 治
国 体 準 備 室 長	今 泉	浩 明
総 務 主 幹	入 野	和 修
人 権 教 育 室 長	鈴 木	
児 童 生 徒 指 導 推 進 室 長	赤 羽	
学 力 向 上 推 進 室 長	野 中	
世 界 遺 産 登 録 推 進 室 長	羽 瀬	

3 午前9時30分、委員は全員出席しており、委員会は成立したので、定例会を開催する旨を告げた。

4 委員長は、本日の会議録署名委員に3番伏木委員を指名した。

5 委員長は、本日の議案等のうち、第1号議案及び第3号議案については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（旧法）第13条第6項の規定に基づき、会議を非公開で行いたい旨、各委員に諮ったところ、全委員の賛成により非公開とすることに決定した。

6 委員長は、報告を受ける旨を告げた。

## 7 報 告

- (1) 事務長に給料の特別調整額を支給する県立学校及び給料の特別調整額の支給額を定める規則の一部改正について  
委員長から説明を求められ、教職員課長が説明した。  
この報告に関して、委員から質問や意見はなかった。
- (2) 県立学校管理規則の一部改正について  
委員長から説明を求められ、教職員課長が説明した。  
この報告に関して、委員から質問や意見はなかった。
- (3) 平成29年度栃木県立高等学校入学者選抜関係諸日程について  
委員長から説明を求められ、学校教育課長が説明した。  
この報告に関して、委員から次のような質問や意見等があった。

### 〔委 員〕

- ・ 定時制課程の願書提出期間は、例年、全日制課程の合格者発表後から土日を除けば実質3日間であるが、不都合はこれまでなかったのか。

### 〔事務局〕

- ・ 中学校から日程は十分大丈夫であるという意見を聞いている。

- (4) 平成29年度栃木県立中学校入学者選抜関係諸日程について  
委員長から説明を求められ、学校教育課長が説明した。  
この報告に関して、委員から質問や意見はなかった。
- (5) 平成29年度栃木県立特別支援学校入学者選抜関係諸日程について  
委員長から説明を求められ、特別支援教育室長が説明した。  
この報告に関して、委員から質問や意見はなかった。
- (6) 平成27年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について  
委員長から説明を求められ、スポーツ振興課長が説明した。  
この報告に関して、委員から次のような質問や意見等があった。

### 〔委 員〕

- ・ 資料を見ると、運動は大切だという意識はあるが、実際はあまり運動をしていないように推測できる。親も運動は大切だと言っているのに、特に小学校の頃は、週末を親子で楽しく運動してリフレッシュする習慣があるとよいと思う。
- ・ また、スペースなどの環境を考えると、朝や放課後など学校にいる間に、授業だけではなくて、何かを作ったり、ゲームをするなど、体を動かして生活能力をアップする機会を増やしていただきたい。

### 〔事務局〕

- ・ おっしゃるとおりである。ただ、本県の場合、今市事件以来、小学校で

- は一斉下校のため、放課後が使えないという事情がある。
- ・ 今後の取り組みとしては、まず、幼児期から体を動かすことを意識づけていくべく、総合教育センターと連携して幼稚園や保育園の指導者に本格的に講習を行っていきたいと考えている。
  - ・ また、遊びなども含めた運動のハンドブックを現在作成中である。生涯学習課とも連携し、教育施設などにも置くようにして、いたるところで活用してもらえるようにしていきたい。
  - ・ さらに、放課後が使えないということは、地域との連携が重要になってくることから、各地域の総合型地域スポーツクラブの活用を図る方策を進めていきたいと考えている。

〔委員〕

- ・ 問題行動の多かったある小学校で、週2回朝10分間ランニングを取り入れたところ、問題行動が減ったということがあったと聞いたことがある。このように、体を動かして、脳を刺激する、そのことで善悪の判断がつくようになる、といった問題行動の回避ということでも体を動かすことは大切だと言われている。こうしたことも意識して、心身ともに健全な子どもの育成につながるように体力づくりや運動能力を高める取り組みを進めてもらいたい。

〔事務局〕

- ・ 体を動かすことで学力が向上するというデータもある。
- ・ 体を鍛えるということも必要であるが、それより優先されるのは、いかに運動が楽しいかということを知ることであると考えている。幼稚園・小学校の段階では、楽しく運動・遊びをさせて、将来自発的に運動することができるような体力づくりというものを今後も進めていきたい。

〔委員〕

- ・ 表1の④反復横とび、⑤20mシャトルランは全国平均以上であり、⑥50m走は平均以下だが、④⑤と⑥には相関はないと理解すればよいのか。
- ・ ④⑤も得意で俊敏そうな子は、⑥も速そうな気がするのだが。

〔事務局〕

- ・ ④は敏捷性、⑤は全身の持久力や心肺機能、⑥は筋のスピードといった運動能力をそれぞれ試すものである。相関が全くないかといえ、何らかの関係はあるのかも知れないが、必要とする運動能力はそれぞれ違うものなので、大きな相関関係はないものと思われる。

〔委員〕

- ・ 体育の授業を除く週の総運動時間が60分未満という子もいるが、昔は運動するという意識がなくとも、走り回るなどで知らずに運動していたものである。今はスクールバスなどもあって、学校まで歩くことすらしないケースもある。こうした現状の中では、小さい頃から意識的にスポーツとしてとらえてそれを楽しむというのは重要であると思われる。

〔委員〕

- ・ 4、5ページの調査で「夕食を食べる」という項目に「食べない日もある」という回答もあるが、これは貧困と関係があるのか、それとも生活習慣によるものなのか。

〔事務局〕

- ・ この調査では理由までは聞いていないので分からない。

8 委員長は、一部順番を入れ替え、審議に移る旨を告げた。

9 第2号議案 平成28年度栃木県立高等学校の生徒並びに特別支援学校の高等部の生徒及び幼稚部の幼児の募集定員について

第2号議案は、審議の結果、原案どおり可決された。

この議案に関して、委員から次のとおり質問や意見等があった。

〔委員〕

- ・ 学級数の増減があり学年ごとに学級数が異なると、学校側としては、不便なことはないのか。

〔事務局〕

- ・ おっしゃるとおりで、学校からは、学年を跨ぐ縦割り行事がやりづらいという声は聞くが、工夫してやってもらっている。ただ、地域（旧学区）ごとの中学校卒業見込者の数に合わせた受け入れを考えると、増やさないと入れない子どもたちが出てきてしまうので、学校には理解してもらっている。
- ・ 地域で子どもたちの数にばらつきがあるが、なるべく、学級の増減が一度あった場合は、その後3年間は動かさずに学級数が揃うよう、工夫して募集定員を設定しているところである。

〔委員〕

- ・ 学区を撤廃しているのだから、例えば広く各校5人ずつの定員増として、学級数は変えないということはできないものか。

〔事務局〕

- ・ それについては現在検証中であるが、実際には学区は撤廃したものの、通学圏に大きな影響は見られていないようである。よって、当面は、地域ごとの子どもたちの数に合わせるという従来の考え方を踏襲して、今後何か大きな問題が生じた場合は、御指摘の考え方も含めて検討していきたいと考えている。

〔委員〕

- ・ 宇都宮地区で、他の高校ではなく、南高校と清陵高校の学級数を増やした理由は何か。

〔事務局〕

- ・ 教室数などの施設面での受入れ可能性や、入試倍率、中学生の進路希望調査などを総合的に判断したものである。

- 10 委員長は、第1号議案及び第3号議案については、先の決定のとおり、会議を非公開で審議する旨を告げた。
- 11 第1号議案 平成27年度栃木県教育委員会各種大会優勝者等表彰について  
第1号議案は、審議の結果、原案どおり可決された。
- 12 第3号議案 栃木県スポーツ推進審議会委員の任命について  
第3号議案は、審議の結果、原案どおり可決された。
- 13 委員長は、以上で本日の会議を終了することを告げ、午前10時24分、閉会した。